

作成日：西暦 2026年 01月 07日

2019年1月1日～2025年8月31日に産業医科大学病院において

視覚の身体障害者手帳の申請を希望され、ゴールドマン視野計と自動視野計の両方を
行った患者さんにご家族の方へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

視覚障害者手帳等級と Functional Vision Score (FVS) の関連性に関する多施設共同研究

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2028年09月30日

3. 研究機関

産業医科大学

4. 研究責任者

産業医科大学病院眼科 助教 奥 一真

5. 研究の目的と意義

この研究は井上眼科病院(東京都千代田区神田駿河台4-3)、医師、鶴岡三恵子を研究代表者とする多機関共同研究です。

日本では視覚障害者手帳の等級判定は視力・視野で判定されますが、病型による不平等や、実際の見えにくさを十分反映しておらず、海外で用いられる評価方法であるFVS (Functional Vision Score) との差が指摘されております。

[目的]

この研究では、FVS と日本の手帳等級の対応関係を明確にし、制度や支援の改善

に寄与することを目的とします。

[意義]

日本での身体障害者手帳等級が FVS でどれくらいなのかを明らかにすることで、より客観的に視機能を評価することができ、合わせた視覚リハビリテーションを行うことができます。また視覚リハビリテーション効果の評価指標としての FVS の有用性を裏付ける重要な知見が得られることが期待されます。

6. 研究の方法

2019年1月1日～2025年8月31日の間に産業医科大学病院眼科にて視覚の身体障害者手帳の申請を希望され、ゴールドマン視野計(以下 GP)と自動視野計(以下 HFA)の両方を行った18歳以上の診患さんを対象とします。電子カルテから年齢、性別、原因疾患、視覚の身体障害者等級の情報を収集し、FVS 値との関連性について調査します。

7. 個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データの解析の際には対象者を特定できないように氏名、住所などの個人情報などを全て加工します。

この研究への参加の拒否は自由です。診療情報等の利用について拒否される場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。この研究から対象外とさせていただきます。

8. 問い合わせ先

産業医科大学 眼科学教室 奥 一真 TEL093-691-7261

9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。この研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。